

2019年3月吉日

お客様各位

株式会社堀場アドバンステクノ

品質保証室

LAQUAtwin pH メータ 初期設定(標準液選択 USA/NIST)の誤りについて

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より弊社製品をご愛用賜り誠にありがとうございます。

首記の件、下記期間に製造いたしましたコンパクト型 pH メータの初期設定値が通常と異なっていることが判明いたしました。不具合の詳細及び今後の弊社対応に関して、下記の通りご連絡いたします。

この度は、多大なご迷惑をお掛けいたしましたこと深くお詫び申し上げます。再発防止のため、品質管理体制のより一層の強化に取り組んでまいります。敬具

記

1. 対象製品

コンパクト型 pH メータ LAQUAtwin

2018年9月～2019年2月製造分

2. 対象形式

LAQUAtwin-pH-11B

LAQUAtwin-pH-22B

LAQUAtwin-pH-33B



表

裏

製品の裏面に製造番号(MFG No.)を記載しております。対象番号は、別紙 1 をご参照ください。

次紙へ続く

3. 不具合の内容

(1) 標準液タイプの初期設定値誤り

国内向け製品におきましては、標準液タイプの初期設定値は、本来「NIST※」としておりますが、前述の期間に製造いたしました対象製品におきまして「USA※」になっていることが判明いたしました。

※NISTとUSAのpH標準液の違いについて

温度(°C)	NISTタイプ		USAタイプ	
	pH4 フタル酸塩	pH7 中性リン酸塩	pH4 フタル酸塩	pH7 中性リン酸塩
25	pH4.01	pH6.86	pH4.01	pH7.00

(2) お客様への影響

付属の標準液(514-4、514-686)をご使用で、標準液タイプの設定が「USA」の状態にて校正した場合に、以下の影響があります。

- ① 校正が完了した場合、測定値にずれが生じる(約0.1pH高くなる)。
- ② 校正エラー(Er 4)が発生しやすくなる。

4. お客様へのお願い

付属のNISTタイプ標準液(514-4、514-686)をご使用の場合は、標準液タイプの設定が「NIST」であることをご確認ください。標準液タイプの確認方法と変更方法は、別紙2をご参照ください。

5. 今後の対応について

標準液タイプの設定は、一度、設定していただきますと初期化(工場出荷時)をしない限りは維持されます。別紙2に記載しております「標準液タイプの確認および変更方法」の手順にてご操作いただきますようお願いいたします。

また、弊社にて対象製品の点検と初期設定の修正を承っておりますので、「専用インターネット受付窓口(別紙2にURL記載)」より、お申し込みいただきますようお願いいたします。

専用インターネット受付窓口でお申し込みいただきますと弊社より専用梱包袋(着払送り状同梱)を送付いたします。対象製品を専用梱包袋に入れ、着払送り状にて弊社へご送付をお願いいたします。弊社にて受け取り後およそ5営業日以内に、お客様へお届けいたします。

6. お問い合わせ窓口

HORIBA カスタマーサポートセンター

フリーダイヤル:0120-37-6045

受付時間: 平日9時~12時、13時~17時 土曜日・日曜日・祝日を除く

以上

◎対象形式・製造番号の詳細

お手元の LAQUAtwin pH メータの製造番号(MFG No.)を、下表をご参照の上ご確認くださいませようお願いいたします。

尚、製造番号が下表にて対象となっている場合でも、一部弊社在庫、流通上の在庫であった場合には、既に修正済の製品である場合もございます。その場合は、下部画像の通り、外箱にシールを貼付しておりますので、ご確認くださいませようお願いいたします。ご不明な点がございましたら、お手数ではございますが、お問い合わせ窓口までご連絡をお願いいたします。

対象形式	LAQUAtwin-pH-11B	LAQUAtwin-pH-22B	LAQUAtwin-pH-33B
製造番号	G18J0131～G18J0250	G28H0001～G28H0100	G38J0001～G38J0080
	G18K0001～G18K0270	G28K0001～G28K0100	G38K0001～G38K0050
	G18L0001～G18L0220	G28J0001～G28J0100	G38L0001～G38L0025
	G18M0001～G18M0160	G28L0001～G28L0130	G38M0001～G38M0045
	G19A0001～G19A0200	G28M0001～G28M0080	G39A0001～G39A0040
	G19B0001～G19B0250	G29A0001～G29A0120	G39B0001～G39B0030
	—	G29B0001～G29B0110	—

<製造番号構成>

例) LAQUAtwin-pH-11B の場合

G 1 8 J 0 1 3 1

ア イ ウ

下線部アは、形式ごとに固定。(G1,G2,G3 に区別)

下線部イは、製造年ごとに固定。(2018年:8、2019年:9)

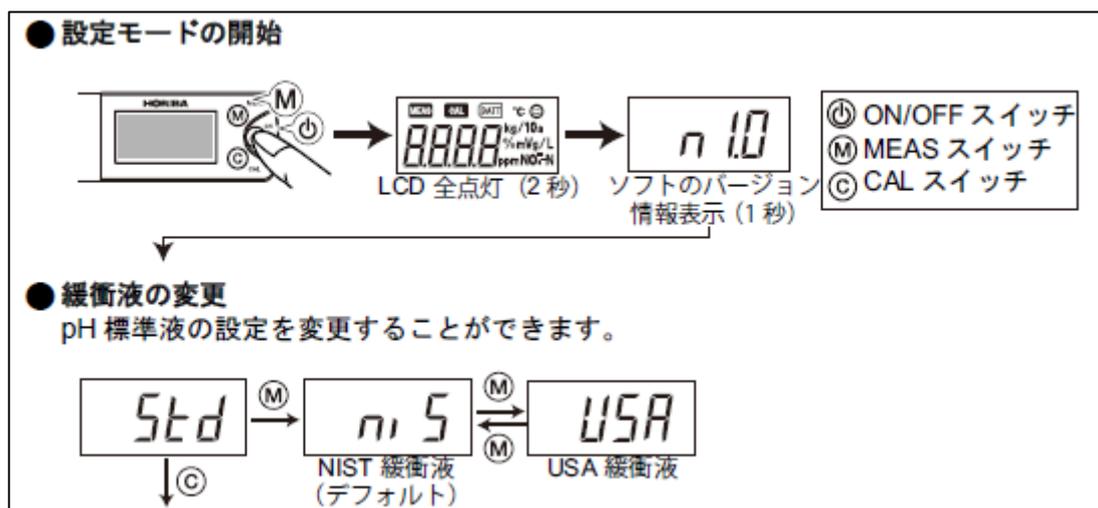
下線部ウは、製造 LOT ごとに連番。(アルファベット 1 文字+数字 4 文字から構成)

<修正済品貼付シール>



◎標準液タイプの確認及び変更方法（本製品取扱説明書 p.4 より抜粋）

- ①電源 OFF 状態にて、電源スイッチと MEAS スイッチを同時に押します。
- ②「Std」の表示が出ましたら、MEAS スイッチを押します。現在設定されている標準液タイプ「NIST」or「USA」が表示されます。
- ③「NIST」になっている場合は、CAL スイッチを 3 回押して、設定モードを終了してください。
- ④「USA」になっている場合は、MEAS スイッチを押して「NIST」に変更し、CAL スイッチを 3 回押して、設定モードを終了してください。



◎「専用インターネット受付窓口」のご案内

<http://www.horiba.com/jp/scientific/products-jp/support-for-phtwin/contact-form-phtwin/>